

清新な気持ちで、新年度をスタートする4月。学級は、子どもたちにとって学校生活の基盤です。安心して学習や人間関係づくりができる場所であり、自他の権利が尊重され、規律のある学級は、学力向上やいじめを防止する上からも重要です。また、学級づくりには、キャリア教育と重なる面が多くありますので、本年度は、キャリア教育の視点での取組例も紹介します。ご活用ください。



### <小学校>

#### 温かなつながりをつくるために

変化に柔軟に対応できる「人間関係づくりの能力」をつけていくために、早い段階で、**集団ゲーム**を体験しながら、「友だちっていいな」と感じる場面を大切にしたいものです。**新しいクラスの仲間作り**のために、次のようなゲームを取り入れてみませんか。

#### 鬼ごっこのバリエーション <スリルと楽しさ>

・こおりオニ      ・手つなぎオニ  
 ・ネコとねずみ      ・川わたりオニ      など  
 体を使って動き回ったり、お互いに触れ合えたりするよさがあります。

#### じゃんけんを使ったゲーム <思わず夢中になる>

・じゃんけんボーリング（例えば、学級を二つに分け、1列目8人、2列目4人、3列目2人、4列目がゴールキーパー1人で並ぶ。じゃんけんが勝ったら前に進み、ゴールキーパーに勝ったら得点）偶然性と、声を出し合うよさなどがあります。

#### 学級づくりをキャリア教育の視点からみると

#### 子どもが生きる係活動



清掃係のA君。熱心にそうじをしているが、係としての活動は消極的

掃除の仕方やコツをクラスみんなに紹介するのも係の大事な仕事だね！



アンケートで友達の意見を聞いて、クラス新聞の内容を考えたBさん

読んでくれる友達のことを考えながら、もっといい新聞になるように前向きなアイデアを出して活動できたね。



係活動等を通して、役割を果たす経験を積み重ねることは、キャリア教育でねらう「自己理解・自己管理能力」を育むこととなります。そのためには、「自分も学級のために役に立っている」という実感もてるような言葉がけにより、係活動に意欲的に取り組めるようにしましょう。

### <中学校>

#### 緊張や不安を和らげる

新しい環境が、大きな緊張感や不安感を生むことがあります。そのような気持ちを和らげて、適応できるようにしたいものです。そのために、例えば、次のようなゲームを行ってみてはどうでしょうか。

#### 学級開きの時には…

○先生を知る YES・NO クイズ（他者理解・教師の自己開示）

担任が自分に関する質問をする。生徒はグループで相談して答える。ユーモラスな問題や意外な問題で、担任に対する親しみをもたせることも可。

#### 短学活のときには…

○自己紹介じゃんけん（他者理解・自己開示）

二人1組でじゃんけんをし、勝った人は相手に対して、自己アピールや自己紹介を行う。数人の相手と行い、感想を全体場で発表しあう。

#### 学級づくりをキャリア教育の視点からみると

#### 自分の学校生活を見つめる

各学級では学級目標を決めますが、それに合わせて生徒一人一人が個人目標を決めるようにすることが大切です。個人目標を意識させ、「自分は学級にどのような貢献ができるか」を考えさせましょう。

#### ☆個人目標を常に意識させるための工夫

- ・個人目標を教室の壁面に貼る。
- ・個人目標を書いたカードを机の右上に貼る。
- ・「個人目標振り返りカード」に記入する活動を通して、常に個人目標に立ち戻る場を作る。

#### ☆生徒同士の相互評価で目標達成の意識を高める工夫

短学活等において、学級目標を実現するためにがんばっている友達のよさを発表する場を作る。

このような活動により、キャリア教育でねらう「自己理解・自己管理能力」や「人間関係形成・社会形成能力」を育むことができます。